



平成30年度幡多地域アクションプランの
追加、削除、拡充等（予定項目）について

幡 多 地 域 本 部

平成30年2月13日（火）

地域アクションプランの追加・削除項目について

地域アクションプランの動向

H29年度 241 → H30年度 236 (▲5)

地 域	H29年度 (第3期ver.2)	H30年度 (第3期ver.3)				
	AP数 H29.9.19時点	追 加	削 除	統 合	小 計	AP数
安 芸	32	0	0	(2→1) ▲ 1	▲ 1	31
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	0	0	0	0	30
嶺 北	23	1	0	0	1	24
仁淀川	38	0	▲ 1	0	▲ 1	37
高 幡	43	0	▲ 2	0	▲ 2	41
幡 多	48	1	▲ 2	0	▲ 1	47
合 計	241	2	▲ 6	▲ 1	▲ 5	236

※ 削除6件のうち、自立:2件
産業成長戦略として実施:2件

幡多地域アクションプラン項目（第3期計画ver.2（H29年度）と第

No.	平成29年度	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		13	11	15	10	7	8
1	高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業	●					
2	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業	●					
3	長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業		●				
4	四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業			●			
5	三原村ユズ産地化計画の推進事業					●	
6	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業			●			
7	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業				●		
8	すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業	●			●		
9	すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業	●					
10	レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業	●					①削除
11	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業	●					
12	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業	●					
13	四万十川の環境と資源を活用した産業振興事業			●			
14	キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業				●		
15	衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業				●		
16	幡多地域産品販売体制構築事業	●	●	●	●	●	●
17	直七の生産、加工、販売の促進事業	●					
18	昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業	●					
19	土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト		●				
20	だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業		●				
21	地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業		●				
22	海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業		●				
23	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業			●			
24	四万十牛の生産・販売拡大事業			●			
25	売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)			●			
26	四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業			●			
27	地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業			●			
28	四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業			●			
29	素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業			●			
30	遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業			●			
31	大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)				●		
32	莓を核とした6次産業化確立事業				●		②削除
33	三原村のどぶろくによる地域活性化事業					●	
34	地域産トマトの加工・販売の推進事業					●	
35	天日海塩を活用したビジネス推進事業						●
36	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業						●
37	幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業						●
38	地域資源を活かした防災関連商品推進事業						●
39	幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト	●	●	●	●	●	●
40	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト	●	●	●	●	●	●
41	宿毛市観光振興事業	●					
42	竜串地域観光再生プロジェクト		●				
43	土佐清水まるごと戦略観光展開事業		●				
44	土佐清水ジオパーク推進事業		●				
45	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光推進事業			●			
46	大月町自然体験・環境教育交流推進事業				●		
47	三原村の魅力を活かした滞在型観光推進事業					●	
48	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光推進事業						●

3期計画Ver.3 (H30年度) の対比表

【幡多地域】

宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	No.	平成30年度
12	11	15	9	8	8		
●						1	高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業
●						2	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業
	●					3	長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業
		●				4	四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業
				●		5	三原村ユズ産地化計画の推進事業
		●				6	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業
			●			7	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業
●			●			8	すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業
●						9	すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業
●						10	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業
●						11	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業
		●				12	四万十川の環境と資源を活用した産業振興事業
			●			13	キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業
			●			14	衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業
●	●	●	●	●	●	15	幡多地域産品販売体制構築事業
●						16	直七の生産、加工、販売の促進事業
●						17	昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業
	●					18	土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト
	●					19	だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業
	●					20	地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業
	●					21	海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業
		●				22	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業
		●				23	四万十牛の生産・販売拡大事業
			●			24	売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)
			●			25	四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業
			●			26	地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業
			●			27	四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業
			●			28	素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業
			●			29	遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業
			●			30	大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)
				●		31	三原村のどぶろくによる地域活性化事業
				●		32	地域産トマトの加工・販売の推進事業
					●	33	天日海塩を活用したビジネス推進事業
					●	34	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業
					●	35	幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業
					●	36	地域資源を活かした防災関連商品推進事業
●	●	●	●	●	●	37	幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト
●	●	●	●	●	●	38	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト
●						39	宿毛市観光振興事業
	●					40	竜串地域観光再生プロジェクト
	●					41	土佐清水まるごと戦略観光展開事業
	●					42	土佐清水ジオパーク推進事業
		●				43	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光推進事業
			●			44	大月町自然体験・環境教育交流推進事業
				●		45	三原村の魅力を活かした滞在型観光推進事業
					●	46	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光推進事業
追加					●	47	集落活動センターによる地域の産業振興

幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	集落活動センターによる地域の産業振興 （三原村） 【実施主体】三原村集落活動センター、農 事組合法人三原やまびこ	特産品の販売や交流人口の拡大、1次産業の振興 等に地域で一体となって総合的に取り組み、地域 の活性化を図る。

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 10 レストランチェーンと連携した地 域水産物の流通・加工体制の推進事業 （宿毛市） 【実施主体】（株）ピアーサーティー	順調に売上高を伸ばしており、計画を上回る売 上を達成している。自社の飲食店を中心にした一 次加工による水産物の出荷は、今後も着実に売上 が伸びていくことが見込まれており、地域アクシ ョンプランとしてのサポートも必要なくなった ことから、自立プランに位置付ける。
2	No. 32 苺を核とした6次産業化確立事業 （大月町） 【実施主体】農業生産法人 苺氷り本舗（株）	「苺氷り」の販路が拡大したことや、取引先と の繋がりによってお茶などを原料としたOEM 商品の製造が増えたことなどにより経営が安定 し、地域アクションプランとしてのサポートも必 要なくなったことから、自立プランに位置付け る。

■その他(拡充等) なし

有望素材シート（30年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	三原村	素材名	村内特産品、体験型観光、三原米 等
		関連素材	

現状・課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三原村集落活動センターは、産業、生活、文化が調和した地域活性化を目的に平成26年3月に設立された。 ・村民が主体となり、地域の課題やニーズに応じて、様々な活動に総合的に取り組む団体である。 ・カフェの運営、地域のイベント支援、特産品開発・販売、移住者支援、一次産業の振興等に取り組んでいる。 ・平成30年4月を目途に法人化を予定している。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内の事業者の外商力及び商品開発力が弱く、販路拡大及び特産品開発が課題となっている。 ・村内に観光受入窓口がなく、観光振興が課題となっている。 ・基幹産業である三原米の付加価値向上及び担い手の確保が課題である。
方今後の	<p>特産品の開発及び販売に力を入れると共に、交流人口の拡大及び一次産業の振興を図ることで、地域活性化につなげていく。</p> <p>(1) 商談会及びイベントへの出展等により、新たな販路の拡大を図る共に、新商品を開発する。 (2) 体験型観光の取り組みを始め、村の観光振興を図る。 (3) 水稲栽培の負担軽減や米の付加価値向上により、三原米のブランド化を進める。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	集落活動センターによる地域の産業振興
	関係市町村名	三原村

事業の概要	<p>特産品の販売や交流人口の拡大、1次産業の振興等に地域で一体となって総合的に取り組み、地域の活性化を図る。</p> <p>(1) 外商促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種展示会・商談会等への参加 ・特産品の開発及び販売 <p>(2) 交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の振興 ・カフェの運営 <p>(3) 1次産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三原米のブランド化と生産力の強化 ・地域と連携した営農体制の構築 					
事業主体等	<p>【事業主体】</p> <p>三原村集落活動センター、農事組合法人三原やまびこ</p> <p>【関係機関】</p> <p>三原村、三原村農業公社、三原村商工会、三原村森林組合</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34～】
	販売促進	・販促活動等の展開				
		・地元農林産物を使った加工品の開発及び販売				
	交流人口の拡大	・体験型観光の振興				
・カフェの運営						
1次産業の振興	・三原米のブランド化と生産力の強化					
	・地域と連携した営農体制の構築					
指標・目標	項目（期末：3月末）	事業実施【H30】	1年後【H31】	2年後【H32】	3年後【H33】	4年後【H34～】
	売上高	20,000千円	21,000千円	22,000千円	25,000千円	26,000千円
	体験プログラム利用者数	0人	50人	100人	150人	200人
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】</p> <p>・集落活動センター関連の既存収益事業の売上高（カフェ、コインランドリー、ししとう（農事組合法人））に、外商の強化、特産品の開発、体験型観光の振興、米のブランド化等に伴う売上増加を加味した。</p> <p>【考え方】</p>				

総事業費等	<p>総事業費 30,000千円（うち30年度千円）</p> <p>（内訳 国： 県：15,000千円 市町村：15,000千円 その他： ）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国： 県：産業振興推進総合支援事業費補助金、集落活動センター推進事業費補助金 人的支援：産業振興アドバイザー</p> <p>その他： </p>
備考	

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
		 販売促進 販促活動等の展開 地元農林産物を使った加工品の開発及び販売			売上高 (H28:6,350千円) 体験プログラム利用者数 (H28:0名)	21,000千円 50人
		食品加工場の整備計画策定	食品加工場の整備			
		 交流人口の拡大 体験型観光の振興 カフェの運営				
		 1次産業の振興 三原米のブランド化と生産力の向上 地域と連携した営農体制の構築 乾燥・精米施設の整備計画策定				
			乾燥・精米施設の整備			

削除項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
10 レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業 《宿毛市》 ※地域産業クラスター関連(幡多地域広域水産業クラスター)	民間事業者による地域産水産物の利用促進と消費拡大を目指す。	・(株)ピアサーティー	アクションプランの取組開始:H22 ・加工施設の整備(H22) ・中国・青島での国際漁業博覧会への出展(H26) ◆H22産業振興総合補助金を活用し、施設整備。H22売上高は1.4億円、H23は1.6億円、H24は1.8億円、H25は2.0億円と若干計画を下回っているが、経営は安定している。 施設の規模拡大や衛生管理の向上により、贈答品商品の提供が可能となり、売上増につながっている。また、新商品の開発や海外販路の開拓に着手するなど、新たな試みも開始しているほか、系列店全体への出荷も順調に推移するなど、今後の展開が期待できる。 ・国民宿舎「椰子」の指定管理受託が決定(H28)	・雇用の確保 ・保管場所の確保 ・原材料の確保	◆生産体制の充実



削除

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
生産体制の充実					売上高 (H22:1.4億円) (H26:2.7億円)	4.0億円
継続的な雇用情報収集、需要に見合う生産体制の見直し・強化、保管場所の確保						
加工原魚の安定調達						
新たな販路の拡大						



削除

削除項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 莓を核とした6次産業化 確立事業 《大月町》	大月町の新しい加工品として注目されている莓氷りの販売拡大および新商品開発により、莓を大月町の新しい特産品として育成し、生産から加工、販売までの一貫体制の構築を目指す。	・農業生産法人 莓氷り本舗(株)	アクションプランの取組開始：H22 ・販路開拓・販売促進(H22～28) ◆販売店舗数も160店舗を超え、雑誌やメディアで取り上げられる機会も多くなるなど、地域を代表する事業者となっている。 ◆シークワサー、みかん、ゆず、抹茶などのご当地氷りも商品化。OEMにより取引先が拡大。 ◆莓のやりくりや莓氷りの在庫管理等、効率的な事業運営による新たなビジネスモデルを確立。	・売上高の向上 ・莓の栽培・収量調整 ・生産施設の体制整備	◆販路開拓及び広告宣伝活動 ◆新商品開発



削除

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路開拓及び広告宣伝活動					→	莓氷り販売額 (H22: 44,090千円) (H26: 65,120千円)	80,000千円
・販路開拓にむけた営業活動 ・販促グッズの作成、リニューアル							
新商品開発					→	その他商品販売額 (H22: 12千円) (H26: 4,000千円)	7,600千円
・ご当地氷りの開発(地域間連携) ・イテゴに関連した商品開発							



削除

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
	加工処理施設の整備 加工処理施設の建設計画の作成 加工処理施設の建設 鶏舎建設(規模拡大)の検討					生産羽数 (H27:0羽)	3,000羽
	生産体制の整備 肥育ノウハウの蓄積 肥育ノウハウの蓄積・改善の継続					加工出荷額 (H27:0円)	14,994千円
	流通販売体制の整備 関西エリアの販路開拓 関西エリアを中心にPR・販路拡大活動 市内飲食業・宿泊施設での利用に向けたPR・販売体制の構築 学校給食等での利用促進活動の展開						



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
	加工処理施設の整備 加工処理施設の建設計画の作成 加工処理施設の建設 鶏舎建設(規模拡大)の検討					生産羽数 (H27:0羽)	3,848羽
	生産体制の整備 肥育ノウハウの蓄積 肥育ノウハウの蓄積・改善の継続					加工出荷額 (H27:0円)	17,436千円
	流通販売体制の整備 関西エリアの販路開拓 関西エリアを中心にPR・販路拡大活動 市内飲食業・宿泊施設での利用に向けたPR・販売体制の構築 学校給食等での利用促進活動の展開						

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産体制の強化					→	直七果実生産量 (H22:21t) (H27:117t)	200t
新植等による作付面積の拡大							
新商品の開発					→		
新商品開発(試作・調査)							
販路拡大					→		
展示会・商談会への参加							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産体制の強化					→	直七果実生産量 (H22:21t) (H27:117t)	200t
新植等による作付面積の拡大							
新商品の開発					→		
新商品開発(試作・調査)							
販路拡大					→		
展示会・商談会への参加							

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業 《四万十市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正前</div>	四万十市の漁業者、農家、加工業者、販売者が連携し、四万十の食材を中心とした加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・しまんと百笑かんばん(株) ・四万十市地域商品研究会 	アクションプランの取組開始:H26 ・新商品開発等(H26～) ◆3アイテム(9種類)の商品開発により、ラインナップの充実を図った。(H26) ◆既存商品(5種類)のブラッシュアップを実施。(H28) ・販路開拓及び拡大(H26～) ◆国内の商談会、展示会、イベント出展により、順調に販路が拡大している。また、H27にはジェトロの事業を活用し、海外での販路開拓に向けた調査等を実施したことにより、販路開拓に向けたノウハウを習得した。H28に県の委託を受けて台湾での高知県フェアを開催するなど、国内外で積極的に販促活動を展開している。 ・生産体制の強化(H26～) ◆加工場増設や生産設備の効率化により、増産が可能となった。 ・HACCP研修等衛生管理研修受講(H28～) ◆HACCP認証取得による販路拡大に向けた取組みを開始。 ・四万十市地域商品研究会の継続開催(H26～) ・四万十市人材育成研修事業の実施(H27～) ・県の頑張る人づくり事業を活用し、外商に耐える商品づくりやマーケティング手法の習得を目的に研修会を実施。 ◆四万十市の事業者が定期的に集い、情報・意見交換やセミナーを実施、商品開発や販路拡大等のスキルアップにつながっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・商品ラインナップの充実 ・生産拡大に向けた施設整備 ・地域商社としての役割強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自社商品の開発及び生産体制の強化 ◆販売拠点整備と販路拡大 ◆四万十市地域商品研究会と連携した新商品づくり、販路拡大



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業 《四万十市》 <div style="background-color: black; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正後</div>	四万十市の漁業者、農家、加工業者、販売者が連携し、四万十の食材を中心とした加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・しまんと百笑かんばん(株) ・四万十市地域商品研究会 	アクションプランの取組開始:H26 ・新商品開発等(H26～) ◆3アイテム(9種類)の商品開発により、ラインナップの充実を図った。(H26) ◆既存商品(5種類)のブラッシュアップを実施。(H28) ・販路開拓及び拡大(H26～) ◆国内の商談会、展示会、イベント出展により、順調に販路が拡大している。また、H27にはジェトロの事業を活用し、海外での販路開拓に向けた調査等を実施したことにより、販路開拓に向けたノウハウを習得した。H28に県の委託を受けて台湾での高知県フェアを開催するなど、国内外で積極的に販促活動を展開している。 ・生産体制の強化(H26～) ◆産振総合補助金を活用し、加工場を整備したことで、生産設備の効率化が図られ、増産が可能となった。(H29) ・HACCP研修等衛生管理研修受講(H28～) ◆HACCP認証取得による販路拡大に向けた取組みを開始。 ・四万十市地域商品研究会の継続開催(H26～) ・四万十市人材育成研修事業の実施(H27～) ・県の頑張る人づくり事業を活用し、外商に耐える商品づくりやマーケティング手法の習得を目的に研修会を実施。 ◆四万十市の事業者が定期的に集い、情報・意見交換やセミナーを実施、商品開発や販路拡大等のスキルアップにつながっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・商品ラインナップの充実 ・生産拡大に向けた施設整備 ・地域商社としての役割強化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自社商品の開発及び生産体制の強化 ◆販売拠点整備と販路拡大 ◆四万十市地域商品研究会と連携した新商品づくり、販路拡大

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					商品売上高 (H26: 30,000千円)	50,000千円	
自社商品の開発及び生産体制の強化 商品開発、地域性のある農産物(生鮮)等の商品化 生産体制の強化に向けた施設整備の検討 生産施設整備							
							
販売拠点整備と販路拡大 首都圏での拠点整備 拠点の運営 商談会・展示会への出展等の販売促進活動 四万十フェア等(生鮮食品販売)の開催							
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催							
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					商品売上高 (H26: 30,000千円)	83,371千円	
自社商品の開発及び生産体制の強化 商品開発、地域性のある農産物(生鮮)等の商品化 生産体制の強化に向けた施設整備の検討 生産施設整備							
							
販売拠点整備と販路拡大 首都圏での拠点整備 拠点の運営 商談会・展示会への出展等の販売促進活動 四万十フェア等(生鮮食品販売)の開催							
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催							
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催							

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業 《四万十市》	中心商店街内の遊休地を活用して、官民協働によるコミュニティ機能を有した地域商業の拠点施設を整備し、県内外の観光客等に対して、四万十地域の産品等の情報発信を行うことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらし、中心市街地の活性化を図る。	・四万十市 ・民間事業者	アクションプランの取組開始：H29		◆推進組織体制の構築 ◆拠点施設整備 ◆事業効果を高める仕組みづくり
修正前					



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業 《四万十市》	中心商店街内の遊休地を活用して、官民協働によるコミュニティ機能を有した地域商業の拠点施設を整備し、県内外の観光客等に対して、四万十地域の産品等の情報発信を行うことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらし、中心市街地の活性化を図る。	・四万十市 ・ <u>四万十にぎわい商店(株)</u>	アクションプランの取組開始：H29 ・運営主体の決定(H29) ・基本設計の策定(H29)	・ <u>誘客効果の高い戦略立案</u> ・ <u>地域への波及効果を高める仕組みづくり</u>	◆推進組織体制の構築 ◆拠点施設整備 ◆事業効果を高める仕組みづくり
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	<p>推進組織体制の構築</p> <p>公募選定</p> <p>事業計画の策定</p> <p>運営主体と地域事業者(団体)との連携</p>					
	<p>事業効果を高める仕組みづくり</p> <p>基本設計</p> <p>実施設計・工事施工</p> <p>開業</p>					
	<p>事業効果を高める仕組みづくり</p> <p>集客の仕掛けづくり(コンセプトやイメージの発信ツールの作成及び磨き上げ 等)</p> <p>PDCAサイクルに基づく経営管理</p> <p>四万十市及び幡多地域の地場産品を活用した「食」「食文化」の発信</p> <p>運営会の開催による安定した集客及び経営並びに近隣商店街等への波及効果を増大させる仕組みの継続</p>					



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	<p>推進組織体制の構築</p> <p>公募選定</p> <p>事業計画の策定</p> <p>運営主体と地域事業者(団体)との連携</p>					
	<p>事業効果を高める仕組みづくり</p> <p>基本設計</p> <p>実施設計・工事施工</p> <p>開業</p>					
	<p>事業効果を高める仕組みづくり</p> <p>集客の仕掛けづくり(コンセプトやイメージの発信ツールの作成及び磨き上げ 等)</p> <p>PDCAサイクルに基づく経営管理</p> <p>四万十市及び幡多地域の地場産品を活用した「食」「食文化」の発信</p> <p>運営会の開催による安定した集客及び経営並びに近隣商店街等への波及効果を増大させる仕組みの継続</p>					